



札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

大地震対応 マニュアル

このマニュアルは、
災害発生時に活用できるよう、
常に携帯してください。



災害が発生したら

正確な情報を収集する

- 倒れやすいものから離れ、落下物に注意
- むやみに動かず安全を確認
- 非常口やドア等を開けて避難口を確保
- 避難は徒歩で、荷物は最小限に
(火を扱っている場合は、身の安全を確認した上で火の始末を)
- エレベーターは使用せず階段で避難
- 正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動
- 負傷者の救護や初期消火に協力
- 家族との安否確認および大学へ安否連絡

地震発生直後は裏面へ



大学への連絡方法

落ち着いたら大学へ安否を知らせる

大地震(目安:震度5弱以上)が発生した場合、本学は学生の安否確認を行います。地震発生時に登録していない場合は、連絡可能になり次第、下記方法で大学に連絡してください。

メール等による報告

- デザイン学部・デザイン研究科学生
gakusei@jimu.scu.ac.jp
TEL 011-592-2371 (学生課)
- 看護学部・看護学研究科・助産学専攻科学生
souen@jimu.scu.ac.jp
TEL 011-726-2500 (薬園事務室)

報告事項

- ① 標題 (安否報告) ② 氏名 ③ 学籍番号 ④ 本人・家族の状況 ⑤ 自宅や避難場所の状況 ⑥ 避難している場合は避難先の住所・連絡先等 ⑦ その他 (困っていることなど)

緊急時パーソナルメモ

氏名 学籍番号

学部・研究科等

住所

電話番号 緊急連絡先

生年月日 血液型 Rh ()

持病 あり ()
なし ()

常用薬 あり ()
なし ()

アレルギー あり ()
なし ()

自宅近くの避難場所

家族との待合せ場所

家族と共有しておきましょう

※ 記入は油性のペンを使用してください。



日頃の準備

大地震の発生を防ぐことはできなくても、適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。どんな備えが必要か考えておきましょう。

- 避難場所の確認(大学付近および自宅周辺等)
- 家族との連絡方法および待合せ場所の確認
- 災害用伝言サービスの確認と登録 (メール宛先等の事前登録が必要)
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認 (災害時徒歩 約 2.5 km /h)
- 緊急時メモの作成・記入
- 具体的な情報収集手段および緊急避難場所等の確認 (大学および通学途中)
- 転倒防止策や緊急時アイテムの確認
- 大学および友人等への連絡方法の確認およびリスト整備

本マニュアルは、本学ホームページよりプリントアウトできるので、ご家族にも事前にお伝えください。
<http://www.scu.ac.jp/department/infostudents/support/#accident>



緊急避難アイテム

日頃から準備・携帯しておく便利な物

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 現金 (小銭も) | <input type="checkbox"/> アドレス帳 (家族、友人の連絡先を記入) |
| <input type="checkbox"/> 健康保険証 | <input type="checkbox"/> ろうそく |
| <input type="checkbox"/> 学生証 (免許証等も) | <input type="checkbox"/> 雨具 (カッパ等) |
| <input type="checkbox"/> タオル・ばんそうこう・包帯 | <input type="checkbox"/> 携帯充電用 USB ケーブル |
| <input type="checkbox"/> 手回し充電ラジオ・ライト | <input type="checkbox"/> ポリエチレン製ごみ袋 |
| <input type="checkbox"/> ティッシュ・ウエットティッシュ | <input type="checkbox"/> 油性マジックペン |
| <input type="checkbox"/> 非常用保温アルミシート | <input type="checkbox"/> 非常用保溫アルミシート |
| <input type="checkbox"/> チョコレート・あめ等 | |

その他非常時に必要なアイテム

- | | |
|------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 非常用食料・水 | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 |
| <input type="checkbox"/> 貯金通帳 | <input type="checkbox"/> ろうそく |
| <input type="checkbox"/> 印鑑 | <input type="checkbox"/> 缶切り・栓抜き |
| <input type="checkbox"/> 常用薬とその処方箋 | <input type="checkbox"/> 洗面用具 |
| <input type="checkbox"/> 運動靴 | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ |
| <input type="checkbox"/> スリッパ | <input type="checkbox"/> 軍手 |
| <input type="checkbox"/> 卓上コンロ | <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> ひも・ロープ | <input type="checkbox"/> ホイッスル |
| <input type="checkbox"/> 予備電池 | <input type="checkbox"/> 上着・下着・靴下 |
| <input type="checkbox"/> ライター | <input type="checkbox"/> (冬): 防寒具 (スキーウェア等)、毛布、寝袋、長靴、厚手の衣類 |
| <input type="checkbox"/> わりばし | |
| <input type="checkbox"/> リュック | |

メモ欄

※ 記入は油性のペンを使用してください。



家族への連絡方法

地震など大災害発生時に提供されるサービスです。

電話 で確認 NTT災害用伝言ダイヤル

☎ **171** をダイヤル

録音 **1** 再生 **2**

暗証番号を利用する録音 **3** 暗証番号を利用する再生 **4**

被災地の方の電話番号を入力

伝言の録音 **1*** 伝言の再生 **1***

(30秒以内) (30秒以内)

*ダイヤル式電話機の方は操作不要です。

インターネット で確認 NTT災害用伝言板

<https://www.web171.jp> (web171)へアクセス

伝言の登録 伝言の確認・再生

携帯電話 で確認 災害用伝言板サービス

事前の登録が必要です! (事前にテストをしてください)

あらかじめ指定したご家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供されます。また、インターネットからも安否情報の確認が可能です。

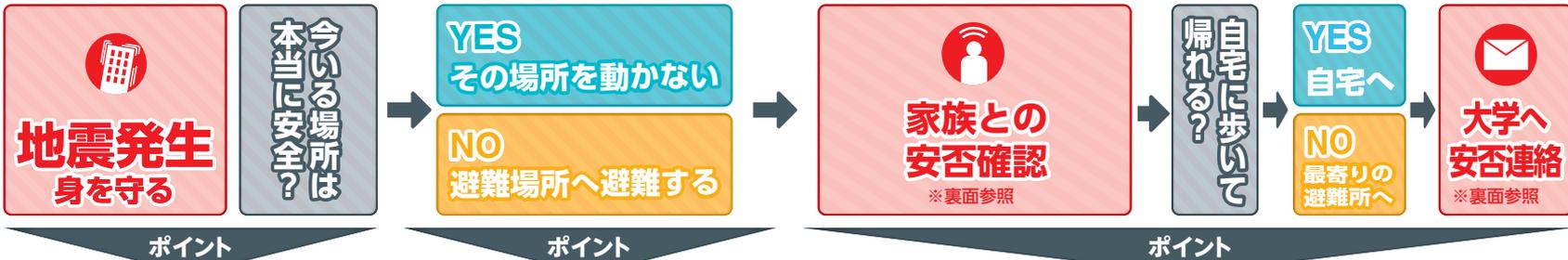
各社の QR コードはこちら



- | | |
|----------|---|
| NTTドコモ | http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi |
| au | http://dengon.ezweb.ne.jp/ |
| ソフトバンク | http://dengon.softbank.ne.jp/ |
| Y!mobile | http://dengon.y!mobile.jp/ |

災害用伝言ダイヤルとweb171は相互連携しています。詳しいサービス概要や、ご利用方法はNTTのホームページをご覧ください。その他携帯各社で提供されているサービスについては、各ホームページをご参照ください。

地震発生直後 → 揺れがおさまったら → 落ち着いたら① → 落ち着いたら②



大学にいるとき

大きな揺れを感じたら

- **危険物から離れる**
窓や棚、ガラス等、割れたり、中のものが飛び出しそうなものから離れる。実習中や課外活動中等で、周囲に危険なものがある場合は、すみやかにその場から離れる。
- **落下物から頭と手足を守る**
机の下にもぐる、バッグ等で頭を覆うなどして、頭と手足を守る。落下物がない場所にいる場合は、その場で座り込む。
- **出口を確保する**
余裕がある場合は、ドア付近にいる人がドアを開け、出口を確保する。
- **揺れがおさまるのを待つ**
安全を確保して、揺れがおさまるのを待つ。

揺れがおさまったら

- **冷静に、落ち着く**
余震の可能性もあるので、あわてずしばらく様子を見る。
 - **周囲の状況を確認**
周囲のものが倒れたり、落下してくる恐れがない場合は、動かない方が安全。危険と判断した場合は、安全なところへ移動する。
 - **初期消火**
火災が発生している場合は、自分の身が安全な範囲で周囲の協力を得ながら初期消火。消火が困難と判断した場合は、すみやかに火から離れる。
 - **負傷者の救護**
負傷者がいる場合は、自分の身が安全な範囲で周囲の協力を得ながら応急手当をし、教職員に連絡する。
- 避難するときは**
- **「おかしも」を守る**
「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない」を守り、教職員や非常放送の指示に従って落ち着いて避難する。その際、避難に支障が出る大きな荷物は持たない。
 - **火災が発生している場合**
煙を吸わないよう、タオル等で口を覆う。
 - **階段で移動**
エレベーターは使用せず、階段で移動する。

通学中・外出時

- 周囲の状況に注意し、身の安全の確保を最優先とする。
- 塀、電柱、自動販売機等から離れ、落下物にも注意する。
- むやみに動かず安全を確保する。
- 被害状況を正しく把握する。
- 事前に家族と相談して決めた避難場所に移動する。ただし、被災場所やその場の状況によっては安全を最優先し、別の避難場所に移動する。

- 避難中は警察や消防の指示に従う。
- 避難は徒歩で、荷物は最小限に。(火を扱っている場合は、身の安全を確認後、火の始末を)
- 正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動する。
- エレベーターを使用せず階段で避難する。
- 負傷者の救護や初期消火に協力する。

家族の電話番号

—	—
—	—
—	—
—	—

※記入は油性のペンを使用してください。

大学構内の避難場所

避難場所は、広く、火災による延焼の恐れがないところが適しています。大学では、あらかじめ以下の場所を避難場所として想定していますが、地震時の状況により安全な場所へ避難してください。

- 芸術の森キャンパス**
避難場所 ▶▶ グラウンド
- 桑園キャンパス**
避難場所 ▶▶ グラウンド (正面玄関前広場)

帰宅する？ 最寄りの避難所へ避難する？

余震がおさまり落ち着いたら、大学の指示を待って、自宅に帰るか検討する。交通機関が動いていない場合は歩いて帰宅することになるが、その場合の目安は最大でも20km以内とされています。(20kmよりも近い人はキャンパス最寄りの避難所へ) また、チェーンメール等に惑わされず、ラジオ・テレビ等で正確な情報を収集する。その後、大学へ安否連絡を行う。(裏面参照)



キャンパス最寄りの避難所

- 芸術の森キャンパス**
避難所 ▶▶ 常盤中学校 (南区常盤2条2丁目)
- 桑園キャンパス**
避難所 ▶▶ 桑園小学校 (中央区北8条西17丁目)

- 多くの人が一斉に帰宅すると各所で混雑が発生するため、余裕を持つことも大切。周りの状況を確認してから帰宅しましょう。
- 災害時の歩行速度は約2.5km/h。10kmは4時間を要することになります。
- 日没後の行動は危険です、夜間は犯罪に巻き込まれる可能性もあるため、1人での行動は避けましょう。

札幌の日の出・日没時刻 (目安)

月 日	日の出	日 没
3月20日	05:38	17:47
6月20日	03:55	19:17
9月20日	05:19	17:36
12月20日	07:02	16:02

※悪天候の場合は1時間早く暗くなります。